

桜小おやじの会ニュース

VOL. 13 (2009.2.25)

発行：桜小おやじの会（会長 福田）

電話：957-5033

事務局：桜小学校 杉原教務主任

学校応援団活動報告会への出席

三郷市教育委員会（指導課）主催の「学校応援団活動報告会」が、2月17日（火）午後3時より鷹野文化センター大会議室において、おおよそ60名強の参加者により開催されました。

報告会には桜小おやじの会会長に対してパネリストとして出席要請があったので、「桜小おやじの会について～その活動と設立～」と題して報告を行ってきました。

報告会は2部構成になっており、第1部では各校での活動報告が行われ、私をはじめ八木郷小岩地ふれあい推進長、前谷小斉藤推進委員長、幸房小おやじの会篠宮会長がパネリストとして活動の報告を行いました。

八木郷小は学校応援団全体に関して、前谷小は推進委員会の中のスクールガードに関する報告であったのに対し、幸房小と桜小は「おやじの会」という応援団の中の1組織についての報告となりました。

第2部は組織の設立までの経過と新しく組織する場合への助言、苦労した点についての発表を行いました。

会場からは、どのように設立に至ったのか？おやじの会の活動経費は？といった質問が出され、私を含めたパネリストが回答を行いました。

最後には、八木郷の委員長さんから今後のおやじの会の活動にも参考になるであろう、大変示唆に富んだ話がありましたので、報告させていただきます。

八木郷小での活動中に、委員長さんが一人では決して出来ない様なことをわざと子供に頼んだそうです。

内容は、「樹木の剪定活動をした時に、（複数人で運び易いよう）小枝を付けたままの大きめの枝を運ぶように」と頼んだところ、子供は一生懸命運ぼうとし、一人でどうしようか考えていたそうです。

その時、その子のお母さんが「危ないから止めなさい」と言ったそうですが、子供は走り出すと何人かの友人を連れてきて、数人掛かりで見事にその大きな枝を運びきったそうです。

我々大人は知らず知らずのうちに、子供の可能性の芽を摘んでしまっているのかもしれない。子供に考えさせ、実行しているときには見守り、結果が出たときに褒めてあげる。大人の基準で子供のやる気の芽を摘まないことが大事なのではないかと、しみじみと実感させられたお話でした。

かく言う私も自分が子供の頃には平気でしていたことでも、親・大人の立場になった今では「止めなさい」と言ってしまっていることに改めて気付かされました。今後は注意しようと思い直した次第です。

皆さんも考えてみていただければ幸いです。

パトロールの実施

彦成中学校育成会が定期的に行っている「パトロール」が2月20日（金）午後8時から実施され、彦成中学校の吉井校長先生より、桜小おやじの会に対して合同での実施要請があったので、これを引き受けパトロールに参加しました。

その背景は、昨年の阿波踊りの時に合同でパトロールを実施し、男性が参加したことが彦成中育成会で高く評価されているようで、今回も是非にということであったようです。

当日は平日の夜ということもあり、おやじの会からの参加は5名（途中から1名参加）と併せて、横井PTA会長の参加（なんと毎回参加しているとのこと）でありましたが、彦成中育成会の方々、参加した吉井校長先生からは感謝の言葉を頂きました。子供達が安心して遊べる地域づくりのために、今後とも連携を取る部分は連携を取って行きたいと改めて思いました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・切り取り線

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

会員応募 ・ ご意見（どちらかに丸を付ける。ご意見は無記名でも可。切り取っておやじの会ポストへ）

児童名 第 学年 組

おやじ名 住所 電話番号

ご意見
